

はままつ 市議会だより

第191号

令和4年5月5日

身近な市議会を目指して



もくじ *contents*

◎ 2月定例会のあらまし	P2
◎ 行政区再編に関する協議の経過	P4
◎ 常任委員会の状況	P5
◎ 代表質問	P7
◎ 一般質問	P8
◎ 特別委員会の活動状況	P11

「紅葉」木版画 作家蔵

2018年 遠藤美香 作

～浜松市美術館 「遠藤美香展」より～

市議会のくわしい情報、会議の映像は
ホームページで公開しています

浜松市議会

検索

スマートフォンはこちらから →



2月
定例会

4年度予算 総額6679億円を可決

サステナブルな地域社会の創造をテーマに脱炭素化などに重点

2月定例会を、2月18日から3月24日までの35日間にわたって開催しました。

◎補正予算などを可決

2月28日の本会議では、18日に上程し、各常任委員会で審査した3年度関係議案19件について、1議員から2議案に対する反対討論がありましたが、採決した結果、いずれも原案のとおり可決しました。



4年度施政方針を表明する鈴木市長

◎市長が施政方針を表明

同日の本会議では、4年度関係議案の上程に当たって市長から施政方針の表明がありました。その中で、4年度の重点化テーマをサステナブルな地域社会の創造とし、デジタル技術の活用や本市の強みである地域特性や資源を生かして、アフターコロナの新しい社会の確立に向け持続可能な都市経営に取り組んでいくとの決意が述べられました。

◎ロシア連邦のウクライナへの軍事侵攻を非難する決議案を可決

3月9日の本会議では、ロシア連邦のウクライナへの攻撃や主権侵害に対し厳重に抗議するとともに、ロシア軍の即時かつ無条件での撤退を強く求める決議案を上程し、全会一致で可決しました。

◎代表・一般質問に10議員

同日の本会議では、4会派が代表質問を、3月10日及び11日の本会議では、6人の議員が一般質問を行い、市政の諸課題について市の考えをたどしました。

◎4年度関係議案を可決

3月24日の本会議では、追加上程した議案を含めた4年度関係議案39件について、各常任委員長から審査の経過と結果が報告された後、1議員から4年度一般会計予算など7議案に対する反対討論、1議員から4年度一般会計予算に対する賛成討論があり、採決した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

また、人事案件2件に同意したほか、意見書3件を可決しました。

可決した意見書

意見書とは、国や県等が実施すべき事項について、議会の意思を意見としてまとめ、内閣総理大臣や関係行政機関などに対して提出するものです。

- ◆超高速通信回線の未整備地域の解消を求める意見書
- ◆防災・減災、国土強靱化の加速化に資する制度の拡充を求める意見書
- ◆誰一人取り残されないデジタル社会構築を求める意見書

議会活動の経過

18日	24日	23日	15日	14日	11日	10日	9日	8日	28日	25日	21日	18日	10日	7日
〔4月〕								〔3月〕						〔2月〕
行財政改革・大都市 制度調査特別委員会	採決・2月定例会閉会 本会議（4年度関係議案 制度調査特別委員会 行財政改革・大都市 議会運営委員会	議会運営委員会 行財政改革・大都市 制度調査特別委員会 本会議（4年度関係議案 採決・2月定例会閉会	各常任委員会 各常任委員会 議会運営委員会 行財政改革・大都市 制度調査特別委員会 本会議（4年度関係議案 採決・2月定例会閉会	各常任委員会 各常任委員会 議会運営委員会 行財政改革・大都市 制度調査特別委員会 本会議（4年度関係議案 採決・2月定例会閉会	本会議（一般質問） 議会運営委員会 本会議（一般質問） 議会運営委員会 本会議（一般質問） 議会運営委員会 本会議（一般質問） 議会運営委員会	本会議（一般質問） 議会運営委員会 本会議（一般質問） 議会運営委員会 本会議（一般質問） 議会運営委員会 本会議（一般質問） 議会運営委員会	本会議（代表質問） 本会議（一般質問） 議会運営委員会 本会議（代表質問） 本会議（一般質問） 議会運営委員会 本会議（代表質問） 本会議（一般質問） 議会運営委員会	議会運営委員会 本会議（代表質問） 本会議（一般質問） 議会運営委員会 本会議（代表質問） 本会議（一般質問） 議会運営委員会 本会議（代表質問） 本会議（一般質問） 議会運営委員会	本会議（3年度関係議案 案採決・4年度関係議案 案上程・施政方針） 議会運営委員会 本会議（3年度関係議案 案採決・4年度関係議案 案上程・施政方針） 議会運営委員会	議会運営委員会 本会議（3年度関係議案 案採決・4年度関係議案 案上程・施政方針） 議会運営委員会 本会議（3年度関係議案 案採決・4年度関係議案 案上程・施政方針） 議会運営委員会	各常任委員会 制度調査特別委員会 行財政改革・大都市 3年度関係議案上程 本会議（2月定例会開会） 本会議（2月定例会開会） 議会運営委員会 市民文教委員会 建設消防委員会 厚生保健委員会	議会運営委員会 本会議（2月定例会開会） 本会議（2月定例会開会） 議会運営委員会 市民文教委員会 建設消防委員会 厚生保健委員会	厚生保健委員会 建設消防委員会 市民文教委員会 議会運営委員会 本会議（2月定例会開会） 本会議（2月定例会開会） 議会運営委員会 市民文教委員会 建設消防委員会 厚生保健委員会	

可決した主な議案

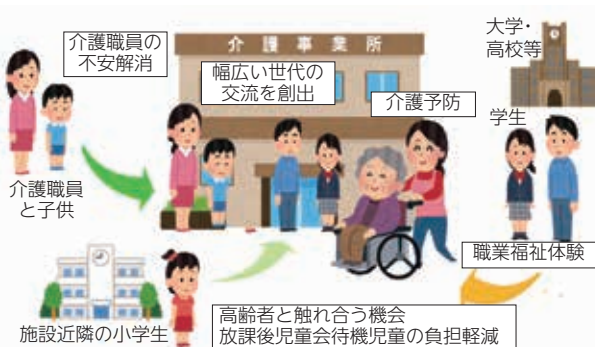
4年度一般会計予算 総額3640億円

- ◆中央図書館のUD化・省エネ化に加えICT環境への対応や座席予約システムを導入した大規模改修 7億5050万円



中央図書館一般書架イメージ図(8月供用開始予定)

- ◆新婚夫婦に対する新生活費用の支援 4200万円
- ◆10月診療分から高校生までの子供の入院費と0歳児の通院費の無償化 4708万円
- ◆「かいごTERAKOYA事業」として市内介護事業所で介護職員の子供や近隣の小学生を夏休み期間中に預かるサービスの提供 500万円



「かいごTERAKOYA事業」イメージ図

- ◆新型コロナウイルスワクチンの3回目追加接種や小児を対象とした2回接種などの体制整備 25億37万円
- ◆健康マイレージ(ポイント)を付与することで市民の健康づくりをサポートするヘルスケアアプリの導入 1300万円

- ◆6年4月の稼働を目指した新清掃工場及び新破砕処理センターの整備 73億1700万円

- ◆次世代自動車センターを通じた地域中小企業のEV(電気自動車)シフト対応への支援 6443万円

- ◆大河ドラマ館の建設をはじめ誘客イベントやプロモーション活動の実施 8億4666万円



大河ドラマ館イメージ図

- ◆交通事故削減のためAIによる事故危険箇所の抽出などデータ分析の実施 3000万円

小型自動車競走場メインスタンド棟の利用料金など改定

- 小型自動車競走条例の一部改正

メインスタンド棟改築工事による機能性・利便性向上に伴い、特別観覧席の利用料金を見直すとともに、予想者及び予想新聞販売者などに係る入場料を改定します。



小型自動車競走場のメインスタンド棟イメージ図(7月供用開始予定)



新型コロナウイルスの感染拡大防止に御協力をお願いします

- ・手洗い・うがいを励行しましょう
- ・密閉・密集・密接の3つの密を避けましょう
- ・感染リスクの高い地域への移動を避けましょう

すべての人に優しさと思いやりの心を

～感染者等への誹謗中傷は「重大な人権侵害」です～



行政区再編に関する協議の経過

協議の経過はこちらから

区制度協議の経過

検索



行政区の再編については、行財政改革・大都市制度調査特別委員会において協議を進めています。

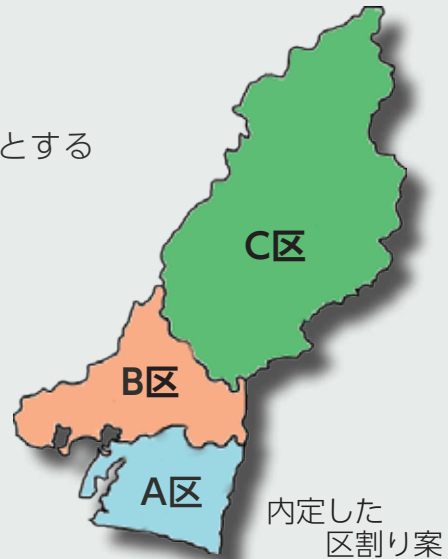
4年2月・3月の協議では、区政担当副市長の概要やパブリック・コメントの結果(速報)などについて協議しました。

特別委員会です承した

区政担当副市長の概要

- 中山間地域の振興に関することを特命事項とする
- 配置場所はC区（現行の天竜区）とする
- A、B、C区を統括し、バランスをとって区政運営をする

※中山間地域の範囲については、中山間地域振興計画に定義するもののほか、類似する地域も含める



内定した区割り案

パブリック・コメント意見募集結果(速報)

- 【実施時期】 4年1月17日～2月15日
 【意見提出者数】 327人、5団体 計332
 【提出方法】 持参(32) 郵便(4) 電子メール(215)
 FAX(11) 説明会等(70)
 【意見数内訳】 792件(提案37件、要望633件、質問122件)

※提案：案の修正点について理由を付して具体的に説明しているもの

要望：施策等に対する改善、意見者の思いや感想が述べられているもの

質問：案に対する質問事項

意見提出者数の区別内訳

区名	意見提出者数	割合
中区	58	18%
東区	38	11%
西区	44	13%
南区	38	11%
北区	79	24%
浜北区	60	18%
天竜区	13	4%
市外	2	1%
合計	332	100%



3月23日特別委員会

※寄せられた意見の内容は、市の考え方と併せて4年5月に公表される予定です。

常任委員会の状況

3月14日、15日に開催した各委員会での審査の概要です

厚生保健委員会

市民文教委員会

●地域コミュニケーション促進事業について

質疑 予算を増額した理由は。

答弁 2年度は新型コロナウイルス感染症の

関係で手話奉仕員養成講座を中止したため、3年度については極力実施するよう調整していた。約1年かけて実施する講座は、会場となる施設が、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により利用できない時期もあったため、4年度分に加え、3年度内に実施できなかった講座分を改めて予算措置したものである。

●子育て世帯に対するフードパントリー支援事業について

質疑 社会的孤立を抱える世帯は、事業の周

知をしてもなかなか当事者へ届かないと考えるが、その対策は。

答弁 フードパントリーの対象者は経済的に困窮している人であり、

独り親世帯の経済的困窮率が高いことも実態調査から分かっている。そのため、独り親世帯へ各種案内をする際にはフードパントリーのチラシを同封するとともに、広報はままつに掲載し周知している。また、民生委員などにも情報提供することで、自分で情報を取りに行けない人へも情報が届くようにしている。

●市民に向けた野菜摂取量増加推進事業について

質疑 小・中学生については、保護者の行動

変容につながらなければいけないと考えるが、取組はどうか。

答弁 事前に家庭で子供の食生活調査を実施し、状況把握した上で

ベジメータでの測定を3回行い、野菜摂取量を数値として見える化する。数値結果のデータは食生活の振り返りのため書面で返却することを検討し、保護者の行動変容につなげていく。



ベジメータ測定

●アクトシティ浜松Aゾーン動く歩道踏板ベルト更新工事について

意見 当該工事費約4300万円については、

ユニバーサルデザイン条例に照らすと課題があることや、修繕費用が高騰していることを踏まえ、附帯決議を付すことを提案する。

委員会の結論 全会一致で附帯決議を付すことに決定した。

附帯決議の要旨 アクトシティ浜松Aゾーン

については、動く歩道によって車椅子利用者の往来がしにくいなどの課題がある。また、外国製ベルト部品が使用されていることなどにより、修繕費用が高騰している。よって、ユニバーサルデザイン

の観点からその意義を確認し、維持管理・更新の方針について再調査・検討すること。



アクトシティ浜松に設置されている動く歩道

●犯罪被害者等支援条例の制定について

当局説明 犯罪被害者等を支える地域社会の実現を図るため、市の責務や施策などについて定めるものである。

質疑 本人以外から見舞金等の申請は可能か。また、周知の方法は。

答弁 状況が分かる親族には申請を認める予定であり、警察からの情報提供により漏れなく対応する。

●いじめ問題第三者委員会条例の制定について

質疑 いじめ問題第三者委員会は、常設の組織となるのか。

答弁 当該委員会の役割は今後大きくなると認識しており、常設が必要だと考えている。

質疑 構成員は。

答弁 弁護士、児童精神科医、心理士、社会福祉士などを想定している。また、学校現場の状況が分かっている人、考えているが、中立性・公平性を考慮し、県外の人を想定している。

総務委員会

環境経済委員会

建設消防委員会

●市制記念式典開催事業について
質疑 式典をこれまでの2部制から1部制に改めるとのことだが、以前の本会議において、式典の第2部に金原明善翁の没後100周年記念行事を行うと答弁していた点についてはどうなるのか。
答弁 1部制に変更はするものの、式典の中で金原明善翁を顕彰する講演会などを実施していく予定である。

●オープンデータプラットフォーム運用事業について
質疑 プラットフォームを活用することにより、市民への情報発信を一元化したはずだが、SNSで発信した情報とホームページ上の情報に差異が生じたケースがあったと聞く。これはシステムのな問題

が要因であったのか。
答弁 システムの問題ではなく、関係各課における調整が十分ではなかったことに起因したものである。今後は庁内で適切に連携し、分かりやすい情報発信に努めていく。

●工事検査事業について
質疑 工事関係書類の量が多く、作成する職員の負担が重くなっていることから、簡素化を進める考えはないか。
答弁 現在、1000万円未満の小規模工事については、書類の簡素化を図っているほか、情報共有システムを活用することで、画像に関して簡素化の取組をしているところである。今後も、他都市の状況確認などを行いながら、効率化・省力化を進めていきたいと考えている。

●地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改定事業について
当局説明 地球温暖化対策の推進に関する法律の改正などに伴い、本市の実行計画を改定するものである。

質疑 新たにカーボンニュートラル推進事業本部を設置し、全庁的な取組を加速していく中で、従来の温室効果ガスの排出抑制対策だけでなく、海藻などの海洋生物により温室効果ガスを吸収するブルーカーボンや、温室効果ガスを積極的に再利用するカーボンプリサイクルなどの観点を計画に盛り込む考えはあるか。
答弁 現時点では国の基準や考えが示されていないことから、国の動向を注視しつつ、市の計画としてどのような

に取り入れられるか検討していく。
当局説明 大河ドラマ大河ドラマ館関連事業について
「どうする家康」の放送を好機として、誘客の核となる大河ドラマ館を建設し、観光誘客による地域経済の活性化を図るものである。

質疑 駐車場及び浜松駅から大河ドラマ館への動線の考え方は。
答弁 浜松城公園及び市役所駐車場の活用により、それぞれ本来の利用者がいるため、大河ドラマ館の来場者については、民間駐車場の活用に向けて駐車場組合との意見交換を進めている。また、来場に当たっては、大河ドラマ館単体ではなく、家康の散歩道など、町なかを周遊してもらえようような動線を整備していく。

●ふれあい森守促進事業について
質疑 クラウドファンディングの実施内容は。
答弁 目標額を200万円とし、富塚川平地区市民の森において、ホタルが舞う自然環境の保全整備に活用する。目標額に達した場合のみ事業を実施する達成時実施型で、6月頃に募集を始める予定である。



富塚川平地区市民の森

●都市防災推進事業について
当局説明 防災都市づくりの基本方針及び具体的指針となる計画を策定し、防災を意識した都市づくりを推進するものである。
質疑 重点検討区域の決め方は。
答弁 災害ハザードマップと都市計画基礎調査のデータを重ね合わせ、災害リスクの評価・分析を行い、被害想定の大い区域を特定し、重点検討区域として選定する。

●まちなか定住促進補助事業について
質疑 分譲マンション及び建売住宅が、補助の対象から除外されている理由は。
答弁 限られた予算の中で、個人の新築住宅を優先している。また、補助金の一団地への集中や、補助金を当てにした不要な開発を防止する観点から、開発事業者などによるものは対象外とした。

代表質問

3月9日には、会派を代表して4人の議員が質問を行いました



自由民主党浜松
倉田 清一

注目される阿蔵山地区の開発に向けた取組は

質問 天竜区阿蔵山地区は、新たな工場用地としての活用が見込まれ、バイパスの早期開通を望む声が高まっているが、今後の整備・開発はどう進めるか。

答弁 道路整備については、国道152号浜北天竜バイパスのうち開発予定地までのアクセス道路は、阿蔵高架橋終点から阿蔵山線との交差点において4年9月の完成を目指している。残る区間は、4年度に設計と一部の工事に着手し、9年度末の完成を目指す。

工場用地の開発につ



道路斜面の防災対策箇所

いては、同地区は高速道路へのアクセスが良好であり、北遠地域の玄関口として活用が大きいと期待できることから、6年度末を目途に工業用地への変更に向けて取り組み、10年度に大規模工場用地として分譲開始予定である。

その他の質問

- ① 全庁を挙げカーボンニュートラル推進を
- ② 区再編内定案における配慮すべき課題は
- ③ 防災・減災、国土強靱化対策の加速化を



公明党
丸 英之

地域脱炭素ロードマップに沿った政策推進を

質問 2050年までの脱炭素社会実現を目指す、国は3年6月に地域脱炭素ロードマップを公表した。再エネなどの資源活用が地域課題解決に貢献するとしているが、本市の取組はどうか。

答弁 国は今後5年間を取組の集中期間とし、モデルとなる脱炭素先行地域の募集を開始した。本市はこれに応募し、ロードマップの重点対策である自家消費型太陽光発電の導入や、建築物の省エネ性能の向上などを目指すほか、新たに全公施設への

太陽光発電設備導入調査やZEHの導入促進支援などを進めていく。また、庁内において脱炭素関連事業を横断的かつ集中的に取り組むため、カーボンニュートラル推進事業本部を設置し、脱炭素政策を加速させていく。

その他の質問

- ① 学習者用デジタル教科書の有効活用を
- ② 子どもコミッションの設置で権利擁護を
- ③ 個人資産を公募債等に活用し市政参加を



地域特性を活かした再生可能エネルギー



創造浜松
関 イチロー

書かない窓口の導入で市民サービス向上を

質問 書かない窓口は市民サービスの利便性向上に加え、感染症予防にも寄与することから、本市でも導入すべきと考えるがどうか。

答弁 本市では、総合窓口を導入し、区役所や協働センターなどで、戸籍や住民票の交付など複数の手続をワンストップで実施しており、現在は来庁者が申請書を記入している。一方、書かない窓口では、来庁者からの聞き取りにより、システムから出力される氏名や住所、申請内容などが印字された申請書を来庁者が

確認し、署名するだけで手続を済ませることができると。こつとしたことから、業務改革の視点で現状の事務手続を検証・評価し、市民の利便性・満足度向上の観点から導入について検討を進めていく。

その他の質問

- ① 新型コロナウイルス患者の状況と救急体制は
- ② ゼロ・ウェイストで
- ③ ほい物リスト活用成果と今後の展開を



協働センター窓口での手続の様子

※ゼロ・ウェイスト：…ごみをゼロにすることを目標に廃棄物を減らす活動

※子どもコミッション：…子どもの声を代弁し、独立した立場で調査、勧告などを行う機関。



日本共産党浜松市議員
小黒 啓子

自衛隊への個人情報提供に除外申請制度を

質問 本市は満18歳になる市民の個人情報、自衛隊に提供しているが、情報提供を望まないという個人の権利保護を基本的な人権と捉え、除外申請を受け付ける考えはないか。

答弁 自衛官等の募集事務に係る情報提供は、国からの依頼を受け、法定受託事務として事務処理を行い提供しているもので、市独自の除外申請制度を設けることは考えていない。提供に当たっては、管理に万全の注意を払うことや、目的外利用をしてはならないなどの



他市で使用されている除外申請書(抜粋)

条件をつけ、個人情報保護対策を図っている。なお、改正個人情報保護法の地方公共団体の機関に関する規定が5年5月までに施行されるが、自衛隊への個人情報提供は同法施行後においても適法なものと考えている。

その他の質問

- ① ごみ削減のため集積所での雑紙回収を
- ② 時間外診療など子供医療費の助成拡充を
- ③ 放課後児童会利用料増額への支援策は

一般質問

3月10日、11日には、6人の議員が質問を行いました



平間 良明
市民クラブ

脱炭素社会実現に向け水素や蓄電池の活用を

質問 再生可能エネルギーを安定的に利用するためには、水素製造や蓄電池などの需給調整が必要だが、これらの活用促進策はどうか。

答弁 再エネ由来の水素製造は、技術革新によるコスト低減が前提となることから、他事例や国の動向を注視し、実証実験の可能性を検討する。また、山梨県との合同セミナー開催など、来るべき水素社会に向けた普及啓発活動を継続していく。蓄電池については、導入意向が上昇しており、浜松市スマートハ

ウス補助金を継続するほか、EVについては、国の補助制度に加え、4年度から導入支援を行うとともに、V2Hへの補助増額により動く蓄電池としての普及を図るなど、再エネの効率的かつ安定的な利用を促進していく。

その他の質問

- ① 四ツ池公園の周辺環境整備の検討状況は
- ② ごみ有料化で見込む一人当たり排出量は
- ③ 生ごみと紙類削減に向けた具体的取組は



使用済み紙容器回収箱



稲葉 大輔
自由民主党浜松

競技団体などとスポーツ施設の戦略的運営を

質問 スポーツ施設の運営においては、施設管理だけでなく、競技団体やプロスポーツなどの協働による戦略的な施設整備や大会誘致などが必要と考えるがどうか。

答弁 現在、スポーツ施設の大半は指定管理者制度などにより、民間ノウハウを生かした運営がされている。また、他都市ではプロスポーツ団体へ管理を委ね、ジュニア育成から大会誘致、大規模改修を含めた施設の長期運営までを包括的に行っている事例もある。

スポーツ施設は活用の仕方によって地域活性化の拠点となることから、競技団体やプロスポーツ団体との連携を強め、大会誘致などの情報を共有することで地域に好循環を生むスポーツ施設の管理運営を進めていく。

その他の質問

- ① 不登校特例校設置と官民連携への考えは
- ② 市立幼稚園の課題と今後の在り方は
- ③ 積極財政と成長産業への投資の考えは



ハードコートへの改修が期待される雄踏総合公園テニスコート



山崎 とし子
公明党

文化資源をデジタル化して活用促進を

質問 デジタル技術を用いて本市の文化資源の魅力を高め、その成果を様々な分野で応用すべきと考えるが、今後の活用はどうか。

答弁 中央図書館では、本市の文化資源のデジタルデータ構築と活用を図るため、文化遺産デジタルアーカイブ事業を進めており、博物館所蔵の大型城下町絵図や美術館所蔵の浮世絵など、本市の貴重な文化資源約380点をデジタル化してインターネット上で公開し、年間約350万アクセスと広く活用されている。

今後、浜松城発掘調査成果の三次元データを活用した仮想現実映像化や、大河ドラマ関連コンテンツの充実を図るほか、学校授業におけるデジタルアーカイブの教材活用など、文化資源の魅力向上や活用促進に努めていく。

その他の質問
① 地域課題である高齢者の移動支援体制は
② 認知症サポーター養成の課題と取組は
③ 市主宰の青少年楽団の未来展望は



ジュニアオーケストラ浜松



太田 康隆
自由民主党浜松

地域創生人材の養成により地域産業の振興を

質問 地域創生アドバイザーに就任した木村俊昭氏をどのように活用する考えか。また、地場産業の振興のため、人材の養成が必要と考えるがどうか。

答弁 木村氏は、内閣官房シニアマネージャーや総務省地域力創造アドバイザーを務めるなど、幅広く活躍されており、地域や現場に近い視点でのアドバイスに加え、企業などと連携した課題解決に向けた提案なども期待している。

また、地場産業の振興には、まち育てとひ

と育てを同時に進めることが必要で、行政職員が黒子となり、地域創生リーダー・プロデューサー人材として活動することが重要と認識しており、養成プログラムや講座などへの参加を通じて、人材を育成していく。

その他の質問
① 木造住宅耐震化の目標値と達成の取組は
② 森林環境譲与税を活用し林業人材育成を
③ 浜北副都心の実現に向けた現状の認識は



なゆた・浜北



須藤 京子
自由民主党浜松

女性特有の健康課題への理解と配慮を

質問 市職員向けに行っている女性特有の健康課題に関する研修の内容と今後の展開への考えはどうか。

答弁 生理関連の症状をはじめとする女性特有の健康課題は、仕事の効率低下を招き労働損失につながるなどの指摘もある。3年10月に女性職員の意見交換会、12月に管理職研修を実施したところ、相談や休暇申請をしやすい職場の雰囲気づくり、休憩スペースの確保や会議の短時間化など、活発に意見が交わされた。今後は、取組を全庁

的に広めるため、プロジェクトチームを編成し、女性の悩みや困りごとを軽減していく。さらに、男性職員にも共感や認識の共有化を段階的に図ることで、全ての職員が働きやすい職場環境を目指していく。

その他の質問
① 人権条例制定にかける市長の思いは
② 外国人市民への就労支援と人材育成を
③ 学校での生理への対応と保健室の役割は

UD・男女まがじん

女性特有の健康課題と働き方

全ての人が性別に関わらず健康で大きな課題のひとつとなるのが、女性特有の健康課題です。生理痛やPMS（月経前症候群）などの現状は、本人がコントロールできず、会社や職場、家族、イライラ、不安など、200種類以上といわれています。経営にも個人にも関係する重要な課題です。

「仕事とついでに、生理を学ぶプロジェクト」から見たこと

コロナ禍の中で、経済的な困難等で生理用品が入手しづらい「生理の困り」が世界的に増加し、市発行のUD・男女まがじん（抜粋）



鈴木 育男
自由民主党浜松

区再編後は地域自治に最適な仕組みの構築を

質問 区再編後の地域自治は、地域特性や課題により施策やコミュニケーションの在り方も変わると考えるが、一市多制度を容認する考えはあるか。また、行政の関わり方はどうか。

答弁 地域自治の根幹となる協議会は、成り立ちなどが異なるため、区再編後は、全市画一にとられない最適な仕組みを構築する必要がある。現在の案では、2階層とし、各層の数は新区の3つから、現行区の7つ、旧市町村単位をベースとする16、地区自治連を単位とす

る最大50までを想定している。

また、事務局はコミュニケーション担当職員が担当、運営に当たっては、会議への参加など地域住民の負担とのバランスを考慮し、地域の声を聞きながら体制を検討していく。

その他の質問

- ① 遊休公共施設利活用の今後の展望は
- ② 空き家を活用した移住促進策の考えは
- ③ 公共インフラ対策に技術職員の確保を



必要な人材配置で適正な維持管理が求められる公共インフラ

用語解説

※1 ZEH(ゼッチ) (7ページ)

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略称。断熱性能の向上と高効率な設備システムの導入で室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅のこと。

※2 ほしい物リスト (7ページ)

本市が新たな寄附制度として活用をはじめた、総合オンラインストアAmazonのサービス。市が必要とする商品リストに登録し、賛同する人がそのリストから購入し、商品を市に寄附することができる。所得税の寄附金控除の対象となる。

※3 V2H(ビークル・トゥ・ホーム) (8ページ)

自動車から家へという意味を持ち、電気自動車などに搭載されている蓄電池の電力を家庭用として使用することができるシステムの総称。脱炭素社会への取組の一つとして注目され、自然災害などによる停電対策にも期待されている。

※4 不登校特別校 (8ページ)

不登校児童生徒の実態に配慮し、学習指導要領にとられない特別な教育課程を編成して教育を行うことができる学校で、文部科学大臣が指定する。3年4月1日現在、全国で17校設置されている。

資産等の公開に係る報告書

4年4月に市議会議員から提出された「資産等補充報告書」、「所得等報告書」、「関連会社等報告書」を、7月1日から本庁市政情報室や各区役所の市政情報コーナーで閲覧できます。

なお、平成30年から3年までに市議会議員から提出された報告書は、議会事務局で閲覧できます。

詳細は議会総務課へ
☎053-457-2505

政務活動費収支報告書等の写しを閲覧できます

3年度の政務活動費収支報告書及び証拠書類の写しを、非公開情報を除き、7月1日から議会事務局で閲覧できます。また、同日から浜松市議会ホームページに掲載します。

なお、平成29年度から2年度までの書類の写しは議会事務局、2年度分は浜松市議会ホームページで閲覧できます。

詳細は議会総務課へ
☎053-457-2505

特別委員会の活動状況

3年度の活動状況を報告します

制行財政改革・大都会

◆区制度の検討

区割り案のたたき台6案について協議を進め、天竜区は行政による特別な支援が必要と判断し、単独の取扱いとすることを決定しました。そして、区割り案たたき台3案を比較検討し協議を進めたところ、区の数 は3区とすることを決定し、区の線引きに当たっては「現行の天竜区」、 「北区のうち三方原地区を除いた地域及び浜北区」、「中、東、西、南区及び北区のうち三方原地区」を新たな区とすることを市に提案し、12月7日の委員会ですり案を内定しました。

また、区政担当副市長の配置や協議会の在り方などについて継続して協議を行いました。

◆大都市共通の課題

政令指定都市が共同で行う圏への要望活動について協議しました。

◆公共施設等総合管理計画

前回策定から5年を経過するため、改訂内容について協議しました。

地方創生調査特別委員会

◆総合戦略

当局から、「やらまいか」総合戦略の2年度の評価について説明があり、委員からは、市民アンケートの結果、満足のいく雇用機会に恵まれていると思う人の割合が19%であったことについて、新型コロナウイルス又感染症拡大の影響も考慮し、戦略や目標値の変更なども検討してほしいなどの意見が述べられました。

◆企業誘致など

当局から、北部清掃工場跡地を工場用地として分譲することについて説明があり、委員から、この土地は工場立地誘導地区になっていないが、今後どのようにしていくのかとただしたところ、当局から、今後二、三年をめどに都市計画マスタープランの中で定めていく予定であるとの答弁がありました。また、複数の委員から、周辺住民に対する説明を十分に行い、理解が得られた上で事業を進めてほしいとの意見が述べられました。

大査特別公共施設建設

◆県が整備する新野球場

当局から、県は、遠州灘海浜公園（篠原地区）の比較検討プランについて、アフターコロナへの対応など調査検討を行った結果、原案の修正はせず、4年度末までの基本計画公表を目指しているとの報告を受けました。

◆新病院建設

浜松医療センターの経営状況について報告がありました。

◆新清掃工場建設

6年4月の稼働に向け、造成・アプローチ道路工事、本体の建築工事ともに順調に進んでいるとの説明がありました。



新清掃工場建設現場（4年3月25日撮影）

交通政策・大規模災害

◆交通政策

当局から、第11次浜松市交通安全計画の基本理念は、「依然として年間5000件を超える人身交通事故が発生しており、子供や高齢者が事故に遭う悲惨な事故も後を絶たないため、改めて「人優先」の考えのもと、交通安全思想の定着と交通環境の充実を図り、究極的には事故のない社会を目指す」とすることなどの説明がありました。

◆新型感染症対策

当局から、新型コロナウイルス感染症の発生状況やワクチン追加接種について説明がありました。それに対し委員から今後の保健所の体制についてただしたところ、当局から、既に担当課長や職員を配置しており、今後、想定以上に感染者が増えたときには、応援職員が派遣される体制がとれているとの答弁がありました。また、子供へのワクチン接種や抗体カクテル療法の使用実績など、多くの質疑・意見がありました。

発行／浜松市議会〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2
編集／浜松市議会事務局
印刷／株式会社アプライズ

浜松市議会では、インターネットによる本会議・委員会のライブ中継と録画配信を行っています。このほか、市議会ホームページでは会議録（本会議・委員会）なども掲載しています。ぜひ御覧ください。

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/gikai/>



遠藤作品の魅力は、182×91cmのベニヤ板を数枚組み合わせた巨大な画面に、とても繊細な彫りを全面に施していく点にある。見る者を圧倒する巨大な画面にびっしりと描きこまれた作品が多い中、「紅葉」は一味違う。技法はそのままに余白を残すことで、広い空間を感じさせている。奥行きのある表現は中央の紅葉の樹を強調させ、細かな彫りは葉の美しい造形を残しつつ存在感のある密度で紅葉の量感を表現している。樹に腰かけるように座る女性は、遠藤自身である。遠藤は構想を練る過程で、自宅に実在する紅葉の樹の上でポーズした自分の写真を撮る。その中から全体のバランスと、身に着けている衣服の模様やポーズが美しく表現できた写真を下絵に使う。自然物の有機的な線や模様と、人工物の無機質で整えられた線と模様が調和し、画面全体の造形的な美しさと構成美を生み出している。

浜松市美術館 「遠藤美香展 『ここに根を張れー』」
6月19日(日)まで開催

紙上美術館
No.177



再生紙を使用しています

紙面に関するお問合せ
浜松市議会事務局 調査法制課
☎053-457-2513

〔5月〕
13日 各常任委員会
19日 議会運営委員会
23日 議会運営委員会
26日 本会議(5月定例会
開会・議案上程)

〔6月〕
7日 議会運営委員会
8日 本会議(代表質問)
9日 本会議(一般質問)
10日 本会議(一般質問)
13日 各常任委員会
17日 議会運営委員会
20日 本会議(採決・5月
定例会閉会)

今後の議会活動の予定